

台風第6号に関する知事メッセージ

台風第6号については、明日6月2日（火）にかけて、種子島・屋久島地方及び奄美地方において、最大瞬間風速45メートルが見込まれるなど、飛散物によって負傷したり、走行中のトラックが横転するおそれもある猛烈な風が吹く見込みとなっています。

また、県内では、2日（火）明け方から夕方にかけて線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険が急激に高まる可能性もあり、厳重な警戒が必要となります。

県では、こうした状況や、県内市町村における災害対策本部の設置状況等を踏まえ、本日（6月1日（月））18時に災害対策本部を設置しました。

先月（5月）20日（水）には沖縄本島近海で地震が発生し、与論町で震度5強を観測したほか、先月25日（月）から27日（水）にかけては県内各地で大雨となったことを踏まえると、当該地域の皆様におかれては土砂災害等への更なる警戒が必要となります。

先月29日から、気象庁が発表する防災気象情報が大きく変わり、「レベル4大雨危険警報」のようにレベルの数値を見るだけで、とるべき避難行動がすぐに分かるようになりました。

県民の皆様におかれましては、テレビ、ラジオ、インターネット等により新たな防災気象情報や市町村が発令する避難情報等を常に確認していただき、早めの避難や不要不急の外出を控えるとともに、猛烈な風が吹く見込みであることから、屋内では窓から離れて過ごしていただくなど、厳重に警戒していただくようお願いいたします。

県としましても、引き続き、市町村や関係機関と緊密に連携をとりながら、県民の皆様の安全確保に全力で取り組んでまいります。

令和8年6月1日

鹿児島県知事 塩田 康一